

日UAE外交関係樹立50周年記念「尾張七宝」

実施日：令和4年10月11日～13日 於：アラブ首長国連邦（アブダビ、ドバイ、ラアス・ル・ハイマ）

■ 派遣専門家



安藤 重幸

株式会社安藤七宝店
代表取締役社長

皇室御用達店であり、創業130年を超える安藤七宝店の代表。伝統工芸品である尾張七宝の継承のため、若手職人の育成や施設整備等に努めるとともに国内外で尾張七宝の魅力を自ら発信している。



池田 貴普

株式会社丹陽商会 副工場長

尾張七宝制作者として、高度な技術と知識を要求される種線作業等にも習熟。

■ 事業概要



解説する安藤氏（ラアス・ル・ハイマ）



会場を埋め尽くす聴衆（ドバイ）



作品に見入る参加者（アブダビ）



実演を撮影する参加者（ラアス・ル・ハイマ）



熱心に質問する参加者（アブダビ）



複数地元紙への掲載（アル＝ハリージ紙等）

■ 実施結果

2022年が日UAE外交関係樹立50周年に当たる好機を捉え、伝統的技術を守りつつ、現代のニーズにも応えることで、130年以上にわたり「尾張七宝」を製造・継承してきた安藤七宝店の安藤氏と池田氏がUAEを訪問。安藤氏からは、伝統的花瓶に始まり、アクセサリやエンブレムまで広がる尾張七宝の魅力を紹介し、池田氏は、高度な技術を要する尾張七宝製作工程の一部を披露しました。講演では、参加者のほとんどがステージに上がって作品を鑑賞する等、会場が熱気に包まれました。各会場では、UAE政府関係者、芸術関係者を含む参加者から熱心な質問が相次ぎ、活発な意見交換も行われました。また、アブダビ音楽・芸術基金創業者や安藤七宝店のエンブレムを使用しているトヨタ自動車の現地駐在員との意見交換が行われたほか、複数地元紙に本事業の様子が掲載され、尾張七宝を通じた日本の魅力発信とともに、将来的なビジネス展開にもつながり得る可能性を開くことができました。